

県営米子屋内プール水泳場運営状況等

1 指定管理者の名称

指定管理者の名称	公益財団法人 鳥取県体育協会
----------	----------------

2 施設の利用状況及び収入実績

区 分		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
施設名	利用者数 (人)	71,203	78,713	88,440	93,124	84,870
	使用料 収入額(円)	15,298	17,568	19,655	19,690	17,910

3 自主事業の実施状況

		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
水泳教室	参加者数(人)	8,555 (965)	11,368 (1,313)	12,863 (1,483)	13,312 (1,518)	13,879 (1,561)
	水中運動	189 (25)	222 (29)	154 (23)	124 (16)	181 (22)
短期水泳教室	参加者数(人)	2,646 (575)	627 (136)	—	381 (89)	575 (140)
	パーソナルレッスン	247 (247)	13 (13)	—	—	—
グループレッスン	参加者数(人)	254 (254)	290 (290)	346 (346)	92 (92)	85 (85)
	ビジター	—	—	—	371 (371)	286 (286)
バドミントン教室	参加者数(人)	942 (101)	697 (89)	835 (96)	791 (84)	548 (59)
	3B体操	298 (40)	325 (39)	257 (28)	308 (31)	336 (34)
わんぱく教室	参加者数(人)	—	392 (55)	425 (50)	397 (44)	501 (64)
	ジュニアトライアスロン	1,830 (54)	1,111 (102)	1,114 (115)	1,447 (145)	1,570 (158)
トランポリン教室	参加者数(人)	800 (800)	780 (780)	780 (780)	780 (780)	820 (820)
	合 計	15,761 (3,061)	15,825 (2,846)	16,774 (2,921)	18,003 (3,170)	18,781 (3,299)

※人数については延べ人数、() 内の数字は実数。

※パーソナルレッスン、グループレッソンは利用者からの要望に応じて個別に指導（水泳、バドミントン）

※ビジター（申込している教室以外で教室に参加する）の区分は24年度から。

※短期水泳教室は、23年度は未実施。（前年度に教室の占める割合が多く、一般利用者から苦情があったため。翌年度から定員を少なくして再開した。

4 決算額及び指定管理料

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
決算額(円)	62,724	64,900	66,787	67,436	66,016
指定管理料(円)	45,454	45,625	45,761	46,388	46,772
その他収入(円)	17,270	19,275	21,026	21,048	19,244

5 管理体制及び職員の配置状況

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
管理体制	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
職員の配置 状況	館長 1 名 次長 1 名 事務・受付 3 名 指導・監視 6 名 設備管理 1 名 計 12 名	館長 1 名 次長 1 名 事務・受付 3 名 指導・監視 6 名 設備管理 1 名 計 12 名	館長 1 名 次長 1 名 事務・受付 3 名 指導・監視 6 名 設備管理 1 名 計 12 名	館長 1 名 次長 1 名 事務・受付 3 名 指導・監視 6 名 設備管理 1 名 計 12 名	館長 1 名 次長 1 名 事務・受付 3 名 指導・監視 6 名 設備管理 1 名 計 12 名

6 制度の適用による主な改善点（積極的に取り組んだ事項）

〔経費の節減〕

- (例)・ボイラの自動運転以外に状況に応じ手動運転を行い、燃費の削減に努めた。
・簡易な修繕（配管修理、雨漏り等）職員で対応。

〔職員の意識改革〕

- (例)・資格保有状況の再確認を行い、責任感の高揚と職務の充実を図った。
・心配蘇生法、救急法等各種講習会に積極的に参加し、1人1人が責任感を持って職務を遂行できる環境を整えた。

〔利用者の増〕

- (例)・水泳教室申込者の要望に応え、クラスを増やし、ほぼ全員が参加できるよう対応した。
・歩行者、水泳者、子供のコース設定を適切に行い、良好な環境を提供できた。また、水温、室温の適正管理、環境保全に努めた結果、利用者の利便向上につながった。

〔関係機関との関係〕

- (例)・スポーツ施設における子育て支援事業に協力し、教室開催時には託児所を開設、研修

室をキッズルームとして土日祝日開放した。

- ・全日本トライアスロン皆生大会時に拠点施設として活用され、大会の成功に貢献した。
- ・鳥取県障がい者水泳選手権大会を実行委員会として開催し、大会運営を行った。

〔市民との連携〕

- (例)・全日本アクアスロン大会の主会場として提供し、支援及びボランティアスタッフとして参加した。
- ・皆生プレイパーク運営委員会メンバーとなり、イベントの開催に協力し、定期的な除草作業を行った。
 - ・NPO 法人皆生ライフセービングクラブと連携し、着衣水泳講習会の実施し、指導者を派遣した。

〔環境配慮活動〕

- (例)・TEAS（鳥取県版環境管理システム）を遵守することにより、環境に配慮した施設運営を行った。
- ・利用者にも参加してもらい、アイスの棒、ペットボトルキャップ、プルタブ等の回収を実施。

〔工夫・改善したい事項、積極的に取り組みたい事項〕

- ・利用者にとって安心、安全な施設であるよう職員全員が定期的に事故防止のための講習会を実施するなど、職員の資質向上を目指していく。

7 指定管理者制度導入に対する外部の評価

〔県の外部評価委員会の声（H25年度）〕

- ・職員が皆明るく元気で、対応もよく、楽しく利用させていただいている。
- ・来年度以降の施設管理運営を現在の体制のまま行っていただきたい。
- ・ライフセービング活動に理解、協力されている。（水泳実習、着衣水泳講習会への職員派遣）
- ・現在の利用者を非常に大切にしておられる。今後も更なるサービスの提供と利用者の利便性の向上に努めていただきたい。

8 指定管理者制度導入に対する所管課の評価・総括

《県の指定管理業務点検・評価内容（H25年度）》

〔施設設備の維持管理、緊急時の対応〕⇒A

- ・施設全体とは別にプールの安全点検マニュアル、チェックシートを設けており、内容も随時見直しを行うなど事故防止対策が図られている。
- ・入居団体のライトハウス、点字図書館と合同で避難訓練を実施するなど緊急時の体制強化に取り組んでいる。

〔施設の利用許可、利用料の徴収等〕⇒B

- ・協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ⇒ B

- ・ 協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

〔利用者サービス〕 ⇒ A

- ・ 高齢者、障がい者等の減免対象者に無料資格者カードを導入し、受付で該当の有無の確認を省略し、利用者の負担を軽減している。
- ・ 苦情、要望等に速やかに対応している。また、色分けしたカードで職員に周知するなど対応に工夫が図られている。
- ・ 障がい者団体と連携して障がい者水泳大会を新たに開催するなど新たな取組が行われている。

〔収入支出の状況〕 ⇒ B

- ・ 協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

〔職員の配置〕 ⇒ A

- ・ 各種研修に積極的に参加し、特に安全に重点をおいてライフセービングの資格を複数名取得するなど職員の資質向上が図られている。

〔総括〕 ⇒ B